

令和6年度 専門分科会の調査審議結果について

●障がい者福祉専門分科会

所掌事務	障がい者福祉に関すること																		
開催日	令和6年11月22日（金）																		
調査審議内容	1 「第6次宇都宮市障がい者福祉プラン（計画期間：令和6年度～令和11年度）」の令和6年度の新規・拡充事業の取組状況について （1）新規・拡充事業の取組状況の報告 ※ 主な取組は表のとおり 【基本目標1】自分らしく生き生きと自立して暮らせる社会の実現（4取組） <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組名</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい者就職サポートの推進</td><td>積極的な障がい者雇用など障がい者の就労を支援する企業や団体を「宇都宮市障がい者サポート企業・団体」として認定する制度を設置</td></tr> <tr> <td>文化芸術・スポーツ活動の推進</td><td>東京ガス株式会社と連携を図り、市主催イベント「フェスタ my 宇都宮 2024」や障がい者週間イベント（ベルモール）において、ユニバーサルスポーツであるモルックの体験会を実施</td></tr> </tbody> </table> 【基本目標2】乳幼児期から生涯にわたり地域で安心して暮らせる社会の実現（9取組） <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組名</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>包括的・専門的な相談支援体制の充実</td><td>これまで相談支援部会員である各障がい者生活支援センターのみで開催していた相談支援部会について、議題に合わせて、地域包括支援センターや成年後見支援センターなどの関係機関を招き、会議を開催</td></tr> <tr> <td>地域における多様な住まいの場の充実</td><td>これまで運用していたグループホームの備品購入や改修工事の補助制度を見直し、介護備品やバリアフリー改修費を補助する「重度障がい者向けグループホーム整備促進補助金」を新設</td></tr> </tbody> </table> 【基本目標3】互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現（3取組） <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組名</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報アクセシビリティの向上</td><td>障がい者支援アプリ「わく・わくアプリU」を導入し、障がい特性やニーズに応じた情報を発信</td></tr> <tr> <td>小学校における障がいへの理解促進事業の推進</td><td>これまで実施してきた小学校における盲導犬ふれあい教室に加え、障がい者当事者を講師とする講話や障がい者スポーツ体験教室を実施</td></tr> </tbody> </table> （2）主な意見について 「重度障がい者向けグループホーム整備促進補助金」について、補助金額が十分ではない。重度障がい者向けのグループホームは今後、更に求められていくため、国や県との連携や市で他にできることを検討して欲しい。 - 相談支援体制について、相談先をわかりやすくして欲しい。 - 障がい者への理解促進について、市民は障がい者への接し方、支援の方法がわからないので、市民への理解促進を進めて欲しい。	取組名	内容	障がい者就職サポートの推進	積極的な障がい者雇用など障がい者の就労を支援する企業や団体を「宇都宮市障がい者サポート企業・団体」として認定する制度を設置	文化芸術・スポーツ活動の推進	東京ガス株式会社と連携を図り、市主催イベント「フェスタ my 宇都宮 2024」や障がい者週間イベント（ベルモール）において、ユニバーサルスポーツであるモルックの体験会を実施	取組名	内容	包括的・専門的な相談支援体制の充実	これまで相談支援部会員である各障がい者生活支援センターのみで開催していた相談支援部会について、議題に合わせて、地域包括支援センターや成年後見支援センターなどの関係機関を招き、会議を開催	地域における多様な住まいの場の充実	これまで運用していたグループホームの備品購入や改修工事の補助制度を見直し、介護備品やバリアフリー改修費を補助する「重度障がい者向けグループホーム整備促進補助金」を新設	取組名	内容	情報アクセシビリティの向上	障がい者支援アプリ「わく・わくアプリU」を導入し、障がい特性やニーズに応じた情報を発信	小学校における障がいへの理解促進事業の推進	これまで実施してきた小学校における盲導犬ふれあい教室に加え、障がい者当事者を講師とする講話や障がい者スポーツ体験教室を実施
取組名	内容																		
障がい者就職サポートの推進	積極的な障がい者雇用など障がい者の就労を支援する企業や団体を「宇都宮市障がい者サポート企業・団体」として認定する制度を設置																		
文化芸術・スポーツ活動の推進	東京ガス株式会社と連携を図り、市主催イベント「フェスタ my 宇都宮 2024」や障がい者週間イベント（ベルモール）において、ユニバーサルスポーツであるモルックの体験会を実施																		
取組名	内容																		
包括的・専門的な相談支援体制の充実	これまで相談支援部会員である各障がい者生活支援センターのみで開催していた相談支援部会について、議題に合わせて、地域包括支援センターや成年後見支援センターなどの関係機関を招き、会議を開催																		
地域における多様な住まいの場の充実	これまで運用していたグループホームの備品購入や改修工事の補助制度を見直し、介護備品やバリアフリー改修費を補助する「重度障がい者向けグループホーム整備促進補助金」を新設																		
取組名	内容																		
情報アクセシビリティの向上	障がい者支援アプリ「わく・わくアプリU」を導入し、障がい特性やニーズに応じた情報を発信																		
小学校における障がいへの理解促進事業の推進	これまで実施してきた小学校における盲導犬ふれあい教室に加え、障がい者当事者を講師とする講話や障がい者スポーツ体験教室を実施																		

2 情報バリアフリー推進ガイドラインの改定について（令和7年3月改定予定）

（1）ガイドライン改定に対する意見交換

平成25年に策定したガイドラインについて、令和4年に施行された「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の趣旨を踏まえ、改定を行うことから、「第2章 障がいごとの配慮事項」について、障がいの種類や必要な配慮事項に過不足がないか、「第3章 各取り組みへの考え方や配慮」について、項目に過不足がないか、意見を伺った。

< 参考 > ガイドラインの概要

第1章 ガイドラインの概要（趣旨や考え方）

第2章 障がいごとの配慮事項

第3章 各取組への考え方や配慮

- 1 情報アクセシビリティの確保と情報提供の内容の充実
- 2 コミュニケーション支援機器
- 3 イベントや会議における情報への配慮
- 4 災害等の緊急時における配慮

< 参考 > 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の理念

障がい者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策の推進に当たり旨とすべき事項

- ・ 障がいの種類、程度に応じた手段を選択できるようにする。
- ・ 地域にかかわらず、等しく情報取得等ができるようにする。
- ・ 障がい者でない者と同一内容の情報を同一時点で取得できるようにする。
- ・ 高度情報通信ネットワークの利用、情報通信技術の活用（デジタル社会）

（2）主な意見について

- 「第2章 障がいごとの配慮事項」への意見
 - ・ 障がい特性に触れながら説明した方が良い。
- 「第3章 各取組への考え方や配慮」への意見
 - ・ 災害等の緊急時における配慮については、場所や障がい種別ごとの行動指針などの記載を検討して欲しい。
- 共通項目
 - ・ 素案はゴシック体で作成されており、見やすい。弱視の方はゴシック体が見やすく、自閉症の方は明朝体の文字の「はね」が気になる。書体は、それらを踏まえて考慮して欲しい。

3 調査審議結果

「第6次宇都宮市障がい者福祉プラン」の令和6年度の新規・拡充事業の取組状況、情報バリアフリー推進ガイドラインの改定について、了承した。

●障がい者福祉専門分科会 審査部会

開催日時	【第1回】令和6年 6月19日 【第2回】令和6年 9月 4日 【第3回】令和6年12月 4日 【第4回】令和7年 3月 5日
調査審議内容 調査審議結果	【認定状況等】 ・身体障がい者の障がい程度の認定 13件(3歳未満11件) ・身体障害者福祉法第15条第2項による医師の指定 15件 ・指定自立支援医療機関の指定 17件 ・指定自立支援医療機関の変更 16件